

効果概要:「真山2号ため池」は、平成25年9月の台風18号により堤体が決壊し、堤頂を生活道路として利用している集落が孤立したが、堤体の改修や洪水吐きの流下能力の強化によって、令和4年8月の大雨では被害がなかった。

府省庁名:農林水産省

- 実施主体:秋田県
- 対象施設:真山2号ため池

■ 対策の概要及び事業費:

洪水吐き越流幅を3.3mから11.0mへと拡大し、流下能力を5.2m<sup>3</sup>/sから16.2m<sup>3</sup>/sへと強化(約3.1倍)。

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	5億2400万円	H29~R4
うち3か年緊急対策	2億7000万円	H30~R2

対策の効果

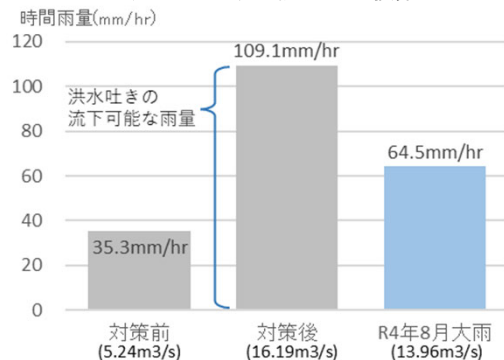
対策前

- 平成25年台風18号(49.0mm/h)の大雨によりため池が決壊
- 堤頂が生活道路となっており、決壊により集落が孤立

対策後

- 堤体を改修するとともに、洪水吐きの流下能力を大幅に強化
- 令和4年8月の大雨(64.5mm/h)においても被害なし

洪水吐きの流下能力(雨量換算)



- 堤体が決壊
- 集落が孤立



防災工事



洪水吐き越流幅  
3.3m→11.0m

